

新佐賀市学校施設整備計画(診断結果)【変更(前倒し計画)】

	総合評価								備考	整備予定年度
	学校名	築年	構造	面積	Is値	コン強度 N/mm ²	緊急度 ランク	対策 種別		
校舎	芙蓉小中	39	RC	1,500	0.26	9.06	①	改築	Is値が0.3未満、かつ、コンクリート強度が10.0N未満であるため改築	H26年度まで
	成章中	46	RC	1,900	0.44	9.78	①	改築	コンクリート強度が10.0N未満であるため改築	
	諸富中	37	RC	3,750	—	10.00	①	改築	コンクリート強度が13.5N未満であるため改築の方針(耐力度調査済み)	
	富士中	40	RC	1,226	—	10.00	①	改築	コンクリート強度が13.5N未満であるため改築の方針(コンクリート強度調査)	
	兵庫小	42	RC	3,700	0.33	10.55	①	改築		
	成章中	47	RC	2,500	0.43	11.04	①	改築	コンクリート強度が13.5N未満であるため改築の方針(耐力度調査済み)	
	若楠小	52	RC	2,307	0.44	11.30	①	改築		
	赤松小	47	RC	2,498	0.38	12.09	①	改修	コンクリート強度が13.5N未満であるが耐力度があるため改修の方針	
	新栄小	47	RC	1,390	0.51	12.63	①	改築	コンクリート強度が13.5N未満であるため改築の方針(耐力度調査済み)	
	北川副小	46	RC	2,223	0.41	12.80	①	改築		
	赤松小	47	RC	2,451	0.41	12.88	①	改修	コンクリート強度が13.5N未満であるが耐力度があるため改修の方針	
	久保泉小	54	RC	1,317	0.52	13.00	①	改修	コンクリート強度が13.5N未満であるが耐力度があるため改修の方針	
	循誘小	44	RC	2,500	0.31	16.27	②	改修	Is値が0.3~0.7未満であるため補強及び改修を行う	
	北川副小	44	RC	2,574	0.32	15.30	②	改築	配置計画及び老朽化により改築の方針(耐力度調査済み)	
	城北中	42	S	318	0.38	鉄骨造	②	改築	Is値が0.7未満、かつ、耐用年数不足により改築(鉄骨造 45年)	
	川上小	45	RC	1,745	0.41	18.20	③	補強	Is値が0.7未満、かつ、H5年に改修工事済のため補強のみ	
	高木瀬小	46	RC	2,454	0.41	14.10	③	改修		
	新栄小	46	RC	2,452	0.43	17.45	④	改修		
	勸興小	51	RC	2,978	0.44	16.90	④	改修		
	鍋島小	53	RC	4,889	0.45	15.90	④	改修		
	北川副小	50	RC	1,277	0.47	14.30	④	改修		
	本庄小	54	RC	2,197	0.47	21.50	④	改修		
	西与賀小	55	RC	2,554	0.47	28.20	④	改修		
	巨勢小	54	RC	2,270	0.49	16.60	④	改修		
	金立小	53	RC	2,271	0.49	17.00	④	改修	Is値が0.3~0.7未満であるため補強及び改修を行う (Is値が低いものを優先)	
	若楠小	55	RC	1,710	0.49	17.30	④	改修		
	勸興小	52	RC	2,764	0.51	17.90	⑤	改修		
	若楠小	52	RC	2,195	0.52	18.00	⑤	改修		
諸富南小	55	RC	2,788	0.52	20.60	⑤	改修			
西与賀小	55	RC	2,184	0.52	29.60	⑤	改修			
日新小	51	RC	1,624	0.58	16.50	⑤	改修			
新栄小	55	RC	1,363	0.66	22.10	⑥	改修			
城北中	53	RC	1,633	0.67	18.40	⑥	改修			
諸富南小	55	RC	1,840	0.75	20.60	⑦	不要			
金立小	54	RC	1,044	0.77	25.80	⑦	不要	Is値が0.7以上であるため、対策不要		
成章中	54	S	952	1.14	鉄骨造	⑦	不要			
体育館	若楠小	53	S	990	0.14	鉄骨造	①	改修	Is値が0.3未満であるが、鉄骨造のため補強で対応可能	H26年度まで
	成章中	48	RC	1,342	0.27	14.70	①	改修	Is値が0.3未満であるが、屋根等の改修により対策可能	
	赤松小	52	RC	1,387	0.27	15.90	①	改修	両者は、同一の設計であり屋根部の重量軽減により改善する見込み	
	兵庫小	45	S	1,200	—	鉄骨造	耐力度	改築		
	神野小	45	S	1,200	—	鉄骨造	耐力度	改築		
	鍋島小	48	S	1,200	—	鉄骨造	耐力度	改築		
	西川副小	46	S	1,200	—	鉄骨造	耐力度	改築	鉄骨造であり、耐用年数からの改築見込み時期が平成30年以内のものについては、耐力度調査による改築を計画	
	循誘小	45	S	1,200	—	鉄骨造	耐力度	改築	※(参考) 昭和48年建築の鉄骨造の場合、45年の耐用年数経過年度が平成30年となる	
	金立小	46	S	1,200	—	鉄骨造	耐力度	改築		
	高木瀬小	47	S	1,200	—	鉄骨造	耐力度	改築		
	新栄小	48	S	1,200	—	鉄骨造	耐力度	改築		
	巨勢小	48	S	1,200	—	鉄骨造	耐力度	改築		
諸富中	41	S	1,126	0.78	鉄骨造	⑦	不要	Is値が0.7以上であるため、対策不要		

※構造欄のRCは鉄筋コンクリート造、Sは鉄骨造の略です。
 ※Is値とは、構造耐震指標であり、0.7以上であれば補強の必要はありません。(0.3未満の場合に緊急度ランク①となります。)
 ※コン強度とは、コンクリートの圧縮強度の数値であり、N(ニュートン)/mm²で表します。(13.5N/mm²未満の場合に緊急度ランク①となります。)